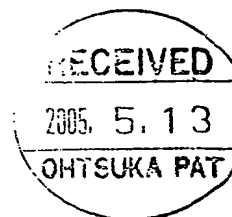


拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第080462号
起案日	平成17年 5月 9日
特許庁審査官	福村 拓 3308 2G00
特許出願人代理人	大塚 康德 (外 2名) 様
適用条文	第29条第2項、第36条



この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1-7
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

引用文献1には、ドットマトリクス表示装置において、ユーザが一定時間入力を行わなかった場合、又は、ユーザから指示が入力された場合、省電力モードとして表示を縮小することが記載されている（第2頁右上欄第11行-第4頁右下欄第16行参照。）。

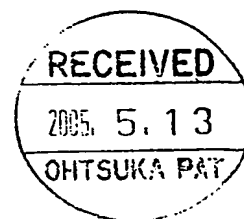
また、輝度（すなわち、画像の劣化の程度）の異なる複数の省電力モードを切り換えることは、引用文献2（特に、段落【0019】を参照。）に開示された技術であり、本願出願時において公知である。

そして、ユーザが省電力モードを指示したとき、どの程度の省電力を実現するかは、当業者が適宜に設計する事項である。

引用文献1, 2に記載された発明は、ともに省電力モードに関する発明であるから、引用文献1に記載された発明において、引用文献2に記載された複数の省電力モードを有する構成を適用することは、当業者が容易になし得ることである。

(引用文献等一覽)

1. 特開平4-115288号公報
2. 特開平7-5861号公報



2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

(1) 請求項 1, 2, 4, 5 には「画像の劣化の少ない省電力モード」及び「画像の劣化がある省電力モード」の用語が記載されているが、「画像の劣化の少ない省電力モード」において画像の劣化が少しあるのであれば、「画像の劣化がある省電力モード」との違いが明確でない。

(なお、両者が違うものを意味するのであれば違いを明確にし、両者が同じものを意味するのであれば、用語を統一されたい。)

(2) 「画像の劣化の少ない省電力モード」との用語において、「少ない」は比較の対象が明確でないとともに、その意味する技術的な範囲（程度）も特定できない。

(3) 請求項 2, 3, 5, 6 に記載された「前記省電力モード」は、「画像の劣化の少ない省電力モード」又は「画像の劣化がある省電力モード」のどちらを意味するのか特定できない。

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C第7版 G 0 9 G 3 / 0 0 - 3 / 3 8
 G 0 2 F 1 / 1 3 3 5 0 5 - 5 8 0
- ・先行技術文献 特開平 1 1 - 3 0 6 3号公報
 特開平 9 - 9 0 3 1 7号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第一部 ナノ物理 福村 拓

整理番号:3957039 発送番号:168676 発送日:平成17年 5月13日 3/E

TEL. 03 (3581) 1101 内線 3225

FAX. 03 (3592) 8858

